

第114回 研究会報告

第114回技術交流研究会が平成20年12月4日(木)に、株式会社ドーコン会議室で開催されました。

今回は、経済産業省北海道経済産業局地域経済部の牧内部長をお招きしてご講演いただくとともに、講演会終了後には懇親会を行いました。以下に、講演内容を掲載します。

■第114回 講演概要

「農商工連携で明日の北海道を

ー北海道経済産業局の役割ー」

北海道経済産業局 地域経済部長
 まき うち かつ や 氏
 牧 内 勝 哉 氏

北海道拓殖銀行の消滅ショックと国の行財政改革による公共投資の削減により、北海道の景気は長期的に停滞している。この中で、将来的に北海道の経済、産業を支え、自立していくための施策を北海道経済産業局は展開してきている。

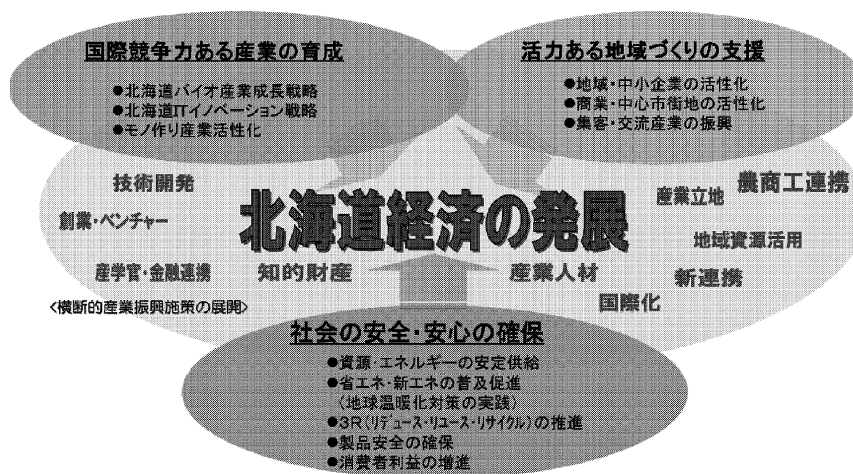
三つの産業クラスターを自立発展軌道に乗せるため、国、公的研究機関と民間企業の活力をネットワーク的に連携させる施策展開を行っている。

- 北海道の基幹産業であり、高いブランドイメージをもつ農林水産業の付加価値を高めるバイオ産業
 - 北海道大学など高い教育研究機能に基づく新しい産業集積を形成してきたIT産業
 - 冷涼な気候、広大な土地、能力の高い人材を求めて近年生産拠点を北海道に定めてきている製造業
- これらの活動を、より戦略的にすすめ、異業種ネットワーク連携を緊密化させるための施策として、新連携・農商工連携といった施策ツールを活用している。

地方分権の動きの中で、再評価・再編の議論が進みつつある国の地域機関ではあるが、道や市などの自治体とは異なった行政目的に基づき、自治体、産業団体、企業等を越えた活動を行う北海道経済産業局の役割を解説する。

北海道経済発展に向けた3つの重点

～北海道経済産業局は「連携」のキーステーション～



図ー1 三つの産業クラスターと、連携する施策展開

農工商等連携事業計画認定実績(7件)

(認定日:平成20年9月19日)

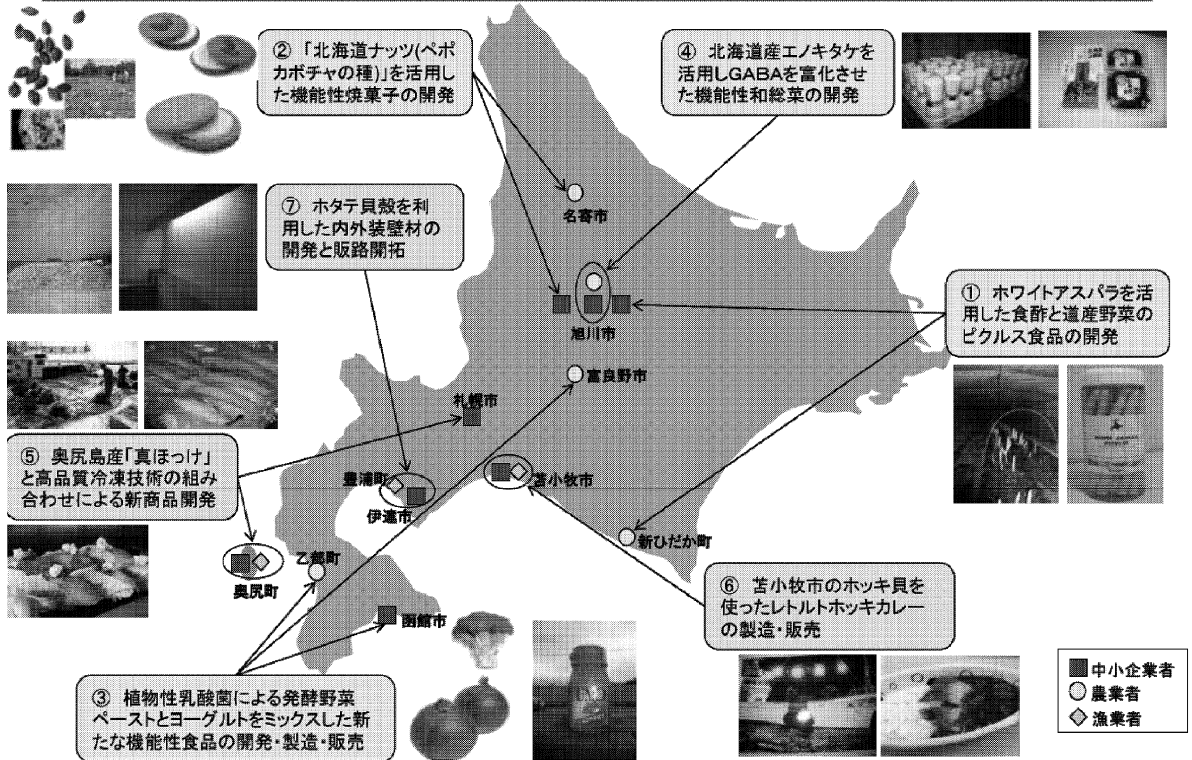


図-2 道内の農工商等連携事業の認定実績



写真-1 講演する牧内氏



写真-2 質疑応答のようす

【幹事より】

気さくな語り口の中にも、故郷北海道発展への熱意をこめてご講演いただいた牧内部長に、誌面をお借りし、あらためて感謝の意を表します。

次回、第115回技術交流研究会は、3月5日(木)に会員の話題提供にて講演会を予定しております。

内容が決まりましたら、HPとEPOでお知らせし

ますので、会員非会員にかかわらずご参加下さい。

また、技術交流研究会では、会員を随時募集しております。(株)日本技術士会の会員であれば、どなたでも入会できます。入会を希望される方、研究会に出席を希望される方は、(株)日本技術士会北海道支部事務局(出村)までご連絡ください。

(文責:技術交流研究会幹事長 金 秀俊)